



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場会社名 シキボウ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3109 URL <http://www.shikibo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 尻家 正博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部門長 (氏名) 伊丹 秀典 (TEL) 06-6268-5421  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,604	△0.3	203	△33.5	204	△0.7	540	362.5
2022年3月期第1四半期	8,628	7.0	305	55.5	206	171.2	116	104.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 702百万円(186.2%) 2022年3月期第1四半期 245百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	46.66	—
2022年3月期第1四半期	10.83	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	81,456	32,045	39.3
2022年3月期	81,596	31,808	39.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 32,035百万円 2022年3月期 31,807百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,900	4.5	750	13.9	600	30.8	400	△1.2	34.53
通期	37,000	3.7	1,700	25.4	1,400	34.8	1,500	—	129.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	11,810,829株	2022年3月期	11,810,829株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	226,898株	2022年3月期	226,663株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	11,584,094株	2022年3月期1Q	10,788,855株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は、株式報酬制度（役員向け株式給付信託）を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立が図られ、緩やかな回復基調にあります。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や日米の金利差拡大による急激な円安を背景に原材料やエネルギー価格の高騰が続いております。さらに、中国による新型コロナウイルス感染症拡大抑制のための都市封鎖は経済活動に影響を与え、経営環境は依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、当社創立150年にあたる2042年に向けた長期ビジョン「Mermaid 2042」を策定し、その実現に向けた第一ステップとして新中期経営計画「ACTION 22-24」を本年4月1日からスタートいたしました。本中期経営計画においては、コロナ禍からの復活を目指すこと、長期ビジョンの実現に向けた成長のレベルをさらに加速させることとし、新たに創ること、新たに取り組むことに挑戦しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は86億4百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は2億3百万円（同33.5%減）、経常利益は2億4百万円（同0.7%減）となりました。また、2021年9月8日に当社の海外連結子会社である㈱マーメイドテキスタイルインダストリーインドネシアにおいて発生した火災による損害に対する保険金を特別利益として4億74百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億40百万円（同362.5%増）となりました。

#### (繊維セグメント)

繊維セグメントでは新型コロナウイルス感染症拡大の影響は一段落したものの、製造コストアップの継続に加え、急激な円安が業績に大きく影響いたしました。

原糸販売事業は、ベトナム糸販売を中心に原料価格高騰による利益の圧迫はありましたが、売値への転嫁が進みつつあること、加えて富山工場の生産量増加により、堅調に推移いたしました。

輸出衣料事業は、急激な円安を背景に、中東民族衣装用地販売は好調に推移し、2023年度向けの営業活動も活発になっております。

ユニフォーム事業は、ユニフォーム生地販売ではお互いの強みを活かした同業他社との協業・連携及びアパレルとの協業取組み構築等は進捗しておりますが、製造コストアップ分の売値への転嫁が遅れていること、また、中国の都市封鎖に起因する出荷停滞の影響により、売上減少等の苦戦を強いられました。ニット製品販売では前年度のベトナムの都市封鎖による納期遅滞分の出荷が集中したこともあり、売上は増加いたしました。原材料価格の高騰をはじめとする製造コストの上昇に加え、急激な円安による輸入コストの上昇が利益を大きく圧迫いたしました。

生活資材事業は、寝装品の巣ごもり需要の反動と中国の都市封鎖による生産停滞により、苦戦いたしました。リネンサプライ分野は、病院リネンが好調に推移いたしました。

メディカル分野では、量販店向け「フルテクト®マスク」は引き続き堅調に推移いたしました。一般的なフルテクト商品の需要は減少しており、「デオマジック®」については、産業用途向けを中心に営業活動をしておりますが、成果に結びつかず、販売拡大には至りませんでした。

以上の結果、繊維セグメント全体としての売上高は42億32百万円（前年同期比5.7%減）となり、営業損失は2億25百万円（前年同期は1億25百万円の営業損失）となりました。

#### (産業材セグメント)

産業資材部門では、ドライヤーカンバス事業は、主要顧客である国内製紙会社での洋紙の生産に回復が見られず、カンバス需要は低調に推移いたしました。フィルタークロス事業は、国内の製造業においてコロナ禍からの回復は見られたものの、半導体不足や部品の供給停滞による自動車減産の影響を強く受け、減収となりました。空気清浄機分野では、汎用機器販売は低調に推移いたしました。海外向けの大型案件を受注・納品したことにより、増収となりました。

機能材料部門では、化成品事業は中国向けの化学品需要が増加したと共に、食品用途の増粘多糖類等が堅調に推移した結果、全体では増収となりました。複合材料事業は、電力分野等の複合材料部材は低調となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んだ航空機用途の需要は前年度から回復基調が続いており、全体では増収となりました。

以上の結果、産業材セグメント全体としての売上高は30億38百万円（前年同期比4.0%増）となり、営業利益は99百万

円(同33.5%減)となりました。

#### (不動産・サービスセグメント)

不動産賃貸事業は堅調に推移いたしました。ゴルフ場事業は天候不順の影響を受けて苦戦いたしました。物流事業は中国の都市封鎖の影響により、商品入荷に大幅な遅れが続き、苦戦いたしました。リネンサプライ事業はコロナ禍からの回復により、順調に推移いたしました。

以上の結果、不動産・サービスセグメント全体としての売上高は14億77百万円(前年同期比8.1%増)となり、営業利益は4億97百万円(同13.8%増)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は814億56百万円となり、前年度末に比べ1億39百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金、棚卸資産が増加したものの、売上債権の減少によるものであります。

負債は、494億11百万円となり、前年度末に比べ3億76百万円の減少となりました。これは主に、有利子負債が増加したものの、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は、320億45百万円となり、前年度末に比べ2億36百万円の増加となりました。これは主に、為替変動に伴う為替換算調整勘定の増加によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前年度末に比べ0.3ポイント増加し、39.3%となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,081	5,225
受取手形及び売掛金	6,946	6,531
電子記録債権	1,873	1,799
商品及び製品	4,857	5,259
仕掛品	1,703	1,765
原材料及び貯蔵品	1,806	1,676
その他	794	881
貸倒引当金	△23	△25
流動資産合計	23,039	23,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,893	46,036
減価償却累計額及び減損損失累計額	△33,533	△33,859
建物及び構築物(純額)	12,360	12,176
機械装置及び運搬具	26,603	26,942
減価償却累計額及び減損損失累計額	△24,802	△25,185
機械装置及び運搬具(純額)	1,801	1,757
工具、器具及び備品	1,672	1,692
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,534	△1,554
工具、器具及び備品(純額)	138	137
土地	39,859	39,859
リース資産	1,988	1,902
減価償却累計額	△1,055	△1,016
リース資産(純額)	933	886
建設仮勘定	424	584
有形固定資産合計	55,516	55,402
無形固定資産	285	284
投資その他の資産		
投資有価証券	868	842
繰延税金資産	1,527	1,432
その他	413	435
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	2,755	2,655
固定資産合計	58,557	58,342
資産合計	81,596	81,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,127	3,148
電子記録債務	682	782
短期借入金	7,863	7,859
1年内償還予定の社債	1,290	1,300
未払費用	509	500
未払法人税等	366	38
未払消費税等	439	187
賞与引当金	561	313
火災損失引当金	321	263
その他	1,414	1,482
流動負債合計	16,577	15,877
固定負債		
社債	3,260	3,210
長期借入金	11,623	12,095
リース債務	798	752
繰延税金負債	178	178
再評価に係る繰延税金負債	6,236	6,236
退職給付に係る負債	6,565	6,541
役員退職慰労引当金	62	49
修繕引当金	62	68
長期預り敷金保証金	4,145	4,145
その他	274	255
固定負債合計	33,209	33,533
負債合計	49,787	49,411
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	896	879
利益剰余金	7,957	8,032
自己株式	△266	△249
株主資本合計	19,923	19,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	131
繰延ヘッジ損益	5	50
土地再評価差額金	13,381	13,381
為替換算調整勘定	△1,224	△1,097
退職給付に係る調整累計額	△420	△429
その他の包括利益累計額合計	11,883	12,037
非支配株主持分	1	10
純資産合計	31,808	32,045
負債純資産合計	81,596	81,456

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	8,628	8,604
売上原価	7,023	7,048
売上総利益	1,604	1,555
販売費及び一般管理費	1,299	1,352
営業利益	305	203
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	11	14
為替差益	0	48
補助金収入	41	16
雑収入	28	19
営業外収益合計	84	100
営業外費用		
支払利息	58	53
新型コロナウイルス感染症による損失	40	9
雑支出	84	36
営業外費用合計	183	99
経常利益	206	204
特別利益		
受取保険金	-	474
固定資産売却益	1	-
その他	0	0
特別利益合計	1	474
特別損失		
投資有価証券評価損	6	-
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	7	-
税金等調整前四半期純利益	199	679
法人税、住民税及び事業税	32	44
法人税等調整額	60	85
法人税等合計	93	130
四半期純利益	106	549
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	116	540



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	106	549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△10
繰延ヘッジ損益	△19	44
為替換算調整勘定	179	127
退職給付に係る調整額	△15	△8
その他の包括利益合計	138	153
四半期包括利益	245	702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252	693
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,483	2,922	1,221	8,628	—	8,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	144	146	△146	—
計	4,486	2,922	1,365	8,774	△146	8,628
セグメント利益又は損失(△)	△125	150	437	461	△156	305

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△156百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,229	3,038	1,336	8,604	—	8,604
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	140	143	△143	—
計	4,232	3,038	1,477	8,747	△143	8,604
セグメント利益又は損失(△)	△225	99	497	371	△168	203

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△168百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。